

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5348

課題名 : 病院前医療活動事後検証の生成 AI 等を用いた検証自動化に関する研究

1. 研究の対象

令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日までの 1 年間に埼玉西部消防局で事後検証を行った症例

2. 研究期間

令和 8 年 4 月 1 日 (研究実施許可日) ～ 令和 10 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 令和 8 年 4 月 1 日

提供開始予定日 : 令和 8 年 4 月 1 日

4. 研究目的

救急救命士が行う活動の内容を、医師が後から確認して改善につなげる「事後検証」は、とても大切な取り組みです。しかし、「事後検証」を行う救急医の人数が限られているうえ、検証の件数も年々増えているため、すべてを丁寧に確認することが難しくなっています。

そこで本研究では、検証の際に使われる記録の中から、人工知能 (AI) が自動的に必要な情報を読み取り、「事後検証」を補助する仕組みを開発します。

この AI を使うことで、医師の負担を減らし、検証作業を効率的に行えるようにすることを目指しています。

5. 研究方法

防衛医科大学校病院救急部 (研究責任者 清住哲郎) は、埼玉西部消防局 (消防局長 田辺隆) より通知された事後検証表を受け取ります。

受け取った事後検証表を利用し、下記の傷病者情報 (6. 研究に用いる資料・情報の種類を参照を) 抽出し、AI モデルに学習させることで、事後検証補助 AI モデルを作成します。

対象者に侵襲行為が加わることは一切ございません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

事後検証表より以下項目を抽出します。

発生年月日・性別・年齢・救急救命処置等の内容・時間経過・転帰・検証結果等
氏名、住所など患者さん個人が特定されるような情報は研究に使用しません。

7. 外部への試料・情報の提供

該当ありません。

8. 研究組織

本校単独研究

既存試料・情報の提供のみを行う機関

埼玉西部消防局 消防局長 田辺 隆

9. 研究に関する情報公開の方法

提供を受ける情報は、入手前から個人情報を加工され、個人をたどれない情報のみを取得するため、研究結果を発表する際にも、患者さん個人が特定できないように公表いたします。

10. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在の所ありません。使用する研究費は講座研究費です。外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

当院における照会先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院救急部 岡本 潤

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 5420）電話対応時間 9 時から 16 時
m04013jo@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院救急部 清住 哲郎